雲南市立病院
地域医療人育成センターだより

第４号
地域枠推薦編

平成27年12月114日 発行
発行者：雲南市立病院総務課
住所：〒699-1221
島根県雲南市大東町飯田96番地1
電話番号：0854-43-2441

ホームページ：http://unnan-hp.jp/
フェイスブック：
https://www.facebook.com/unnan.city.hospital

【第4号　地域医療人育成センターだよりについて】

雲南市立病院 地域医療人育成センター
所長　森脇 義弘

地域医療人育成センターの所長を担当します森脇義弘です。当院では、医師・看護師をはじめとする地域医療を担う医療職を育成することを目的に「地域医療人育成センター」を中心に、地域で必要とする人材育成の取り組みを行っています。第４号では雲南市出身の地域枠推薦者を対象に行っている育成センターの取組を一部ご紹介させていただきます。

【地域医療人育成センターの体制】

所　長　　森脇 義弘（診療局長）　　副所長　　奥田 淳三（外科医長）

副所長　　板持 さとみ（看護部長）

副所長　　永瀬正樹（内科医長）

事務局　　雲南市立病院 総務課総務係

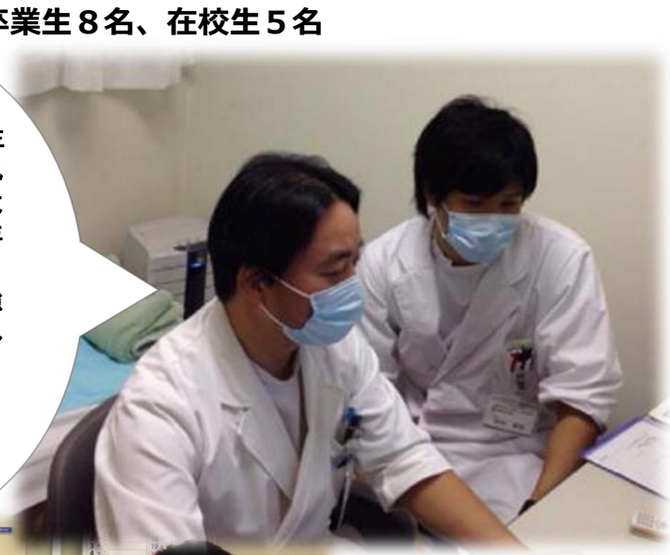
【地域枠推薦とは】

「地域枠推薦」は、島根県の医師として活躍するに十分な資質と明確な目的意識を持ち、へき地医療を中心とする島根県の医療に貢献したいという強い使命感を持った意欲ある学生を発掘し、選抜することを目的としています。それゆえ、この「地域枠推薦」の入試では、従来の推薦入試とは異なり、島根県の地域医療に貢献したいという強い意志を確認するため、志願者が出願前に島根県内のへき地医療機関等で適性評価を受けるとともに、雲南市の市長及び雲南市立病院長による面接を受けることとしています。 また石見高等看護学院の「地域推薦」では卒業後、雲南市内で看護師として就業することを確約する学生を市長が推薦するものです。

【地域枠推薦の実績　平成26年度末時点】

島大医学部地域枠推薦卒業生５名、在校生１２名

石見高等看護学院地域推薦卒業生８名、在校生５名



地域枠推薦の第4期生と大谷院長との実習風景です。現在は島根大学医学部医学科の6年生になり、国家試験を間近に控え、日々勉強勉強の毎日をすごされています。
（島大医学科6年
安田　幸司さん）

「わたしは地域枠推薦の第3期生です。加茂町出身です。現在は島根県立中央病院の初期研修医として日々研修に励んでいます。来年は雲南市立病院でも研修予定です。」（島根県立中央病院
佐藤匡哉　医師）

現在は、島根大学医学部医学科に入学した地域枠推薦の卒業生5名は、将来地域医療の現場で活躍できる日を目指して、現在は県内外の研修病院で研修医として研鑽を積む日々です。また、石見高等看護学院に入学した地域推薦の卒業生の８名は雲南市立病院の看護師として従事しました。

【地域枠推薦者を対象にした交流会を実施しています】

平成２７年11月16日に出雲市内で雲南市地域医療学生交流会2015を開催しました。
雲南市出身、雲南市に縁のある研修医・医学生17人と速水市長・松井病院事業管理者・大谷院長ほ
総勢30人が参加し、盛大な会となりました。
「チームうんなん」のメンバーが、年々成長していく様子、新たなメンバーが増えたこと、そして
輩たちのために道を切り開いている先輩研修医の言葉、どれも本当に心強く感じました。
このメンバーが地域の人たちのために活躍してくれる日が待ち遠しいです！

交流会には雲南市から速水市長（前列右から3番目）、藤井副市長（列中央右）、雲南病院から松井病院
事業管理者（前列左から3番目）、大谷院長（前列左）、ご来賓として**鈴宮雲南保健所長（前列右）、島**
学地域医療支援学講座谷口教授（列中央右から4番目）にも参加していただき、賑やかな会になりました

【地域枠推薦後　学生のうちから地域医療に関わってくれています】

平成27年11月14日（土）、雲南市古代鉄歌謡館（劇場ホール）にて、第11回雲南の地域医療を考え
シンポジウムが開催されました。
『雲南圏域における地域医療～これからの世代が考える私たちにできること～』と題して、現在雲南
域で地域医療に従事する若手医療職、保健医療福祉関係者のみな様、市民の皆さまと一緒にそれぞれ
立場からできる事、手を取り合ってできる事を語り合いました。
.基調講演を頂いた雲南市大東町内はまもと内科クリニック院長の濱本直治医師から、若手医療職に
することとして「今まで現場で頑張ってきている医療職が、より力を発揮していけるよう、より良い
係で連携が進むよう、思いやりの言葉がけや協力をお願いしたい」と、対等な立場での激励のメッセ
ジを頂きました。

パネリストとして、飯南町立病院院長院長　角田医師、雲南市立病院内科医長　永瀬医師、町立奥出
病院　小林看護師、訪問看護ステーション所長　歌田看護師、デイケアはまもと 高尾理学療法士、
枠推薦の学生である島根大学医学部医学科４年 恩田さんが登壇しました。
恩田さんは医師としての知識や技術を身に着けながら、女性としても結婚や出産などのキャリアが積
でいけるだろうかという不安があることや、それでも卒後はふるさと雲南で医師として貢献したい気
があることなどを伝えてくれました。また医学生のという今の立場だからこそできる、「学生に雲南
地域医療に関心を持ってもらえるように声掛けをしたり仲間集めをしたりしていきます！」という、
生懸命な姿勢を示してくれました。地域枠推薦の学生をはじめとした、次世代の医療職者が雲南で活
してくれる日が今から待ち遠しく感じました。

今後も、「地域医療人育成センターだより」を継続的に発行し、センターで行っている地域医療を担う人材育成の取り組みを紹介していきますので、よろしくお願いいたします。